

総長裁量経費については、組合から大学に継続的に質問・照会し、質疑を行っています。以下は、2022年11月17日、組合から大学にメールで事務的に照会したものです（件名：総長裁量経費について）。（大学の一定の回答と質疑は、2023年3月23日団体交渉。）

件名：総長裁量経費について

(2022年11月17日 組合から大学へのメール)

[1] 総長裁量経費は財務諸表の中でどのように記載されているのでしょうか。

たとえば、令和3事業年度にかかる財務諸表を見ても、総長裁量経費に関するものとわかる項目や金額がありません。財務諸表上の項目と数値、記載箇所についてご教示くださいますようお願いいたします。

[2] 2021年11月以降、組合は総長裁量経費に関連するいくつかの質問を公表し、団体交渉の際に、その回答を受け取ってきました。その継続での質問です。宜しく願いいたします。

- 1) 長裁量経費予算の中の運営費交付金・既定分の金額は、次に示すように、平成30年度以降、急激に増加しています(単位:億円)。この配分を決めている学内ルールは何でしょうか。

	H29	H30	R1	R2	R3	R4
運営費交付金・既定分	5.7	9.4	14.6	13.4	17.8	34.2

- 2) 年度予算の「物件費」の総長裁量経費支出と、総長裁量経費予算の運営費交付金と外部資金の収入の和を比較すると、次に示すように、H30年度以降、その金額のずれが増大しています(単位:億円)。近年のこれらの金額の乖離はなぜ生じているのでしょうか。

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
年度予算・総長裁量経費支出	38	37	33	35	40	42	46
総長裁量経費予算・運営費交付金+外部資金	38.3	41.2	38.2	45.9	49.4	58.7	77.9